

令和5年8月31日 定例記者会見発言録

政策財政部次長

定刻になりましたので、ただいまから定例記者会見を行います。本日の進行を務めます政策財政部次長の町田です。よろしくお願いいたします。

本日の配布資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料は、次第、定例記者会見資料、行事等の開催日程、市議会定例会会期日程、議案等の議会提出資料一式、防災フェアのチラシでございます。以上ですがよろしいでしょうか。

それでは、森田市長お願いいたします。

市長

おはようございます。本日は定例記者会見にご出席いただきまことにありがとうございます。

私からは、9月定例市議会提出案件の概要、市政トピックス、行事等の案内の3点について報告します。

はじめに、9月定例市議会に提出する案件の概要ですが、条例制定等の一般議案が8件、補正予算が8件、決算認定が8件、報告6件の計30件です。

それでは、議案等の主なものについて説明します。

はじめに、議案第44号、東松山市新ごみ処理施設検討委員会条例制定についてです。老朽化した東松山市クリーンセンターに代わる、新たなごみ処理施設の整備に向け、建設候補地の選定及び施設整備の基本構想について調査、審議する「東松山市新ごみ処理施設検討委員会」を設置するものです。

委員会は学識経験者、地域の代表者、公募委員からなる10名以内の委員で構成し、会議は令和6年度から開催する予定です。

次に、議案第47号、請負契約の締結についてです。

竣工から約40年が経過した5-79号橋について、鉄道敷上部を除く橋の両側の橋げた、橋台等の修繕及び耐震補強工事を実施します。契約の相手方は、伊田テクノス株式会社で契約金額は3億9,490万円です。施工場所は、大字毛塚地内、橋長は227.15メートル、幅員は13.8メートルで、工期は令和7年1月31日までの2か年の事業です。

次に、報告第12号、令和5年度東松山市一般会計補正予算第4号についてです。

一般会計補正予算第4号は、新型コロナウイルスワクチンの令和5年秋開始接種に係る費用を、令和5年8月18日に専決処分を行ったもので、歳入歳出それぞれ2億3,561万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を342億2,226万9,000円としたものです。

次に、議案第50号、令和5年度東松山市一般会計補正予算第5号についてです。

一般会計補正予算第5号は、歳入歳出それぞれ18億4,462万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を360億6,689万1,000円とします。

今回の補正予算の主なものは、基幹系システムの標準化に対応するためのシステム改修費用や、生まれた子ども一人に5,000円相当分のギフトボックスを贈呈する子育てファミリー応援事業に係る費用、水道料金の基本料金免除に係る費用などです。

東松山市子育てファミリー応援事業は、子育て世帯とつながり、子育て支援のきっかけをつくることで、孤育て（こそだて）やワンオペ育児などを防止することを目的に、生まれた子ども一人に5,000円相当分のギフトボックスを贈呈し子育てファミリー世帯を応援します。

本事業を実施することで、埼玉県が実施している子育てファミリー応援事業のコバトンベビーギフト10,000円相当分が上乗せできることから、市と県を合わせて15,000円相当分のギフトを贈呈します。対象は、令和5年4月1日以降に生まれた子どもがいるご家庭です。

水道料金減免事業は、令和4年10月から今年の9月までの1年間、基本料金を全額免除してきましたが、さらに6か月間期間を延長して、今なお、原油・物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するものです。免除の手続きは不要です。

次に、議案第56号、令和5年度東松山市病院事業会計補正予算第2号についてです。

整形外科の人工膝関節置換術において、より精度の高いインプラント置換手術を実施するため、新たに整形外科手術用ナビゲーションユニットを導入します。このナビゲーションユニットの導入によって、より低侵襲かつ合併症リスクの低い手術が可能となり、患者のQOL向上に貢献できます。

続いて、市政トピックスについてです。

はじめに、東松山市産業・環境フェスタについてです。

市の産業、特産品、農産物を地域住民へ広くPRし、地域産業の発展と市内の生産物に対する理解を深め、併せて、環境まちづくり活動のPRを行い、環境意識の向上を図ります。

この催しは令和元年に開催を計画していましたが、令和元年東日本台風、新型コロナウイルスの影響で見送りが続き、今回が初めての開催です。10月14日（土）、午前10時から午後3時まで、会場は、松山市民活動センターです。

次に、令和5年東松山市防災フェアについてです。

大規模災害に備えた訓練を実施するとともに、市民の防災知識の向上を図るため、防災フェアを4年ぶりに開催します。9月2日（土）、午前9時から正午まで、会場は比企広域消防本部総合訓練場です。展示訓練や体験コーナー、イベントコーナーのほか、防災に関するブースも出展します。防災について、様々な体験を楽しみながら学んでいただく機会にしたいだけだと思います。

次に、シニアのためのここプロフェスタ in 大岡についてです。

「楽しみたい 働きたい 貢献したい」をテーマに、健康寿命の延伸や介護予防を目的とした、シニアのためのイベントを官民連携で開催します。10月6日（金）、午前9時から午後0時30分まで、大岡市民活動センターで開催します。市民病院の田島孝士医師による脳卒中講座や、協力企業による認知機能測定や血管年齢測定、筋力チェックなど、様々なブー

スが出展します。

次に、彫刻家高田博厚展2023についてです。

10月16日(月)から11月7日(火)まで、市民文化センターで企画展を開催します。ご遺族などから寄贈を受けた彫刻作品や絵画などを展示します。なお、今年6月に寄贈いただいた鎌倉市稲村ヶ崎の高田博厚のアトリエにあったピアノも展示します。

また、10月28日(土)には、「粘土から生まれる芸術 高田博厚の彫刻作品から見えるもの」と題し、東松山市在住の陶芸家、畠山圭史氏による講演会を開催します。カーデザイナーから陶芸家へ転身した畠山氏に、作品を生み出す苦労や喜び、高田博厚の彫刻作品について、お話を伺います。

次に、ひがしまつやまアートフェスタ in 高坂彫刻プロムナードについてです。

高坂駅西口から約1キロ続く野外彫刻ギャラリー高坂彫刻プロムナードで地域アーティストによる作品展示やワークショップ、コンサートなどで楽しむアートフェスタを10月22日(日)に開催します。オープニングセレモニーでは、市内在住のヴァイオリニスト、榎本郁さん、同じく市内在住のソプラノ歌手、利根川佳子さんを始めとするミニコンサートを予定しております。また、キッチンカーなどの出店もありますので、芸術の秋を1日お楽しみいただけるイベントです。

次に、第46回日本スリーデーマーチについてです。

日本スリーデーマーチは、子どもからご高齢の方まで、幅広い方に参加いただける日本一のウォーキング大会です。6つの距離コース(50・40・30・20・10・5キロメートル)の中から、自分の体力にあったコースを選び、自然豊かな比企丘陵を3日間歩きます。本年は、11月3日・4日・5日に開催します。皆様の参加をお待ちしています。

次に、市制施行70周年記念第70回東松山市駅伝競走大会についてです。

東松山市駅伝競走大会は昭和29年の町村合併を記念して始まった大会で、今年で70回目を迎えます。本市も来年70周年を迎えることから、そのプレイベントとして開催するものです。今大会から岩鼻運動公園周回コースとなり、新たな歴史をスタートさせる大会となります。

次に、東松島市・東松山市交流バスツアーについてです。

市内在住の方を対象に、友好都市交流バスツアーを11月18日、19日に1泊2日で実施します。東松山市と友好都市である宮城県東松島市を訪問し、震災遺構の見学や東松島市民の方とウォーキングを通じて、相互の交流を深めます。なお、9月22日まで参加者を募集しています。

最後に、お手元に、令和5年9月上旬から11月下旬の行事等の開催日程を配布しておりますので、ご確認ください。私からの報告は以上です。

政策財政部次長 質問がございましたらお願いいたします。初めに副幹事社の朝日新聞社からお願いします。

朝日 朝日新聞の永沼です。新ごみ処理施設検討委員会条例制定の件ですが、改めて今のクリーンセンターの寿命、建設予定地の選定について教えてください。

市長 最初の質問については、担当部長より説明します。建設候補地については白紙の状況です。

環境産業部長 環境産業部長の江口です。クリーンセンターの寿命ですが現在、クリーンセンターは昭和52年に稼働し47年が経過しているところです。県内では2番目に古い施設となっています。環境省が提示している資料ですと寿命は20年から30年と言われていました。当市では平成12年に大規模改修、ダイオキシン対策工事を行っており20年経過しています。まだ寿命としては持つと思いますが毎年、修繕しながら使っている状況です。

朝日 実際の会議は来年度からということで少しひっかかるのですが、いつまでに建設候補地を選定するか教えてください。

環境産業部長 来年度、委員会を立ち上げ、建設候補地の選定、施設整備に係る基本構想について調査審議していただく予定です。概ね2年間をかけて諮問、答申を頂く予定を組んでいます。基本構想を計画していく中で整備スケジュールも明確にしていくこととなります。クリーンセンターについては、一般的に概ね10年程度で建設されると聞いています。来年度から2年を掛けてしっかり検討していきたいと考えています。

朝日 どういう施設にするか、迷惑施設にならないようにするとか中身についても検討していくという理解でよいでしょうか。

環境産業部長 基本構想の中身ですが、必要なごみ処理の規模や処理方式、建設場所、事業スケジュールなどを整理して計画を取りまとめていきたいと考えています。

朝日 水道料金の減免事業ですが、昨年度実施してきたものを延長するという事で、市の独自財源で行うものですか。また、市の独自財源を充てる、意図、狙いを教えてください。

市長 国からの地方創生臨時交付金が今まで交付されて水道料金の基本料金の免除に活用したこともありましたが、特定の方を限定するのではなく46,000世帯、全ての市民に恩恵が及ぶようにという考えの基、引き続き自主財源で水道料金を減免するという結論になりました。

朝日 高田博厚の彫刻展ですが、鎌倉のアトリエのピアノを寄贈していただいた件について詳しく教えてください。

市長 稲村ヶ崎の高田博厚のアトリエは今年、建物を壊しました。以前、ご遺族の方から市に寄贈してもよいという話があり、工房の中にピアノがありましたので、高田博厚の思いのこもったアトリエの中にあるピアノですので私も是非いただきたいという思いがありました。

朝日 鎌倉のアトリエが解体されて持ってきた物は、ピアノ以外にもありますか。

市長 今回はピアノだけご遺族から送っていただきました。今までほとんどの物は、既に頂いています。

朝日 ピアノは今回、展示のみなのでしょうか。ピアノを使って演奏するとか予定はありますか。

市長 できれば展示期間中にプロのピアニストに演奏していただきたいのですが、ピアノの修理や調律が必要となります。

朝日 このピアノは当時、高田さん自身が弾いていたのでしょうか。

市長 そうだと思いますが、確認できていません。

政策財政部次長 以上を持ちまして本日の定例記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

市長 ありがとうございました。